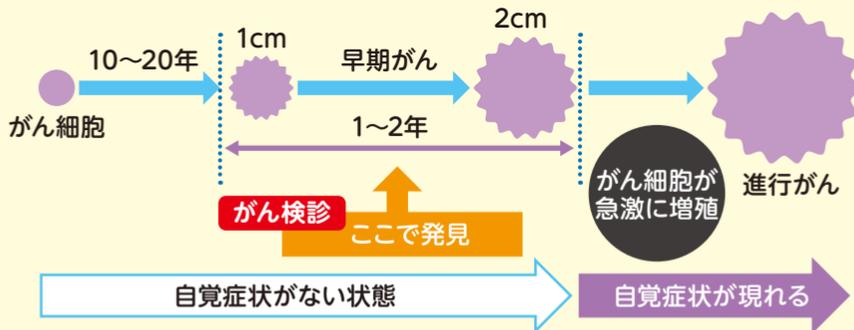


# コロナ禍でもがん検診は必要です!

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で検診の受診者が激減しています。一般的に、早期発見ほど治り、発見が遅れるほど治療が困難になります。

## ●自覚症状が出てからでは遅い!

早期がんで発見できる期間は自覚症状が出るまでの1~2年の間だけ。その期間を過ぎるとがん細胞は急速に増殖、「進行がん」となり死亡リスクが高まります。



がんの治療は「早期発見・早期治療」が重要です。そのためには、定期的(毎年又は2年に1回)に検診を受ける必要があります。

## ●受診機会を逃がさないで!

保健福祉センターでのがん検診は、お申込みをされた方の中から抽選で受診者を決定しています。新型コロナウイルス感染防止対策として予約定員を縮小しているため、保健福祉センターでの受診機会は減っていますが、がん検診は取扱医療機関でも受診できます。保健福祉センター・医療機関とも感染防止対策を講じており、安心して受診していただけます。検診の機会を逃さないでください。

### 保健福祉センターのがん検診は次のとおり、新型コロナウイルス感染防止対策を行なっています。

- 予約定員の縮小
- 受診会場の換気及び人との間隔を意識した設営
- 受付時間の分割
- 検診車の換気や検診機材の消毒

また、検診スタッフのマスク着用やアルコール手指消毒を徹底し、発熱・咳・倦怠感等体調不良の場合は業務に従事させないようにしています。受診者の皆さんも来所時にはアルコール手指消毒を必ず行っていただき、マスクの着用にご協力をお願いします。

がん検診を受けた?

新型コロナウイルス拡大の影響で今年には控えてる。

自覚症状が出てからでは遅いんだよ。この図を見て。

早期がんで発見できる期間は1年から2年の間なの!!

よし、いますぐ予約しよう。

えっ、森山くん受けてなかったの!

区役所・医療機関とも感染防止対策を行っています。安心して受診してください。



# 令和3年度から、がん検診の取扱いが変わります

## 令和3年夏頃に「前立腺がん検診」を新たに導入します

前立腺がんは最新のがん統計で男性罹患数が1位となり、今後も増加する予測です。

検診によって早期発見・早期治療を行い、健康な状態で日常生活を送っていただくために、対象の男性市民に対し、前立腺がん検診を実施します。※詳細が決定次第、☎にてお知らせします。

### 大阪市前立腺がん検診

**対象者** / 令和3年度末年齢50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の男性市民  
50歳(昭和46年4月1日~昭和47年3月31日生まれ)  
55歳(昭和41年4月1日~昭和42年3月31日生まれ)  
60歳(昭和36年4月1日~昭和37年3月31日生まれ)  
65歳(昭和31年4月1日~昭和32年3月31日生まれ)  
70歳(昭和26年4月1日~昭和27年3月31日生まれ)

## がん検診・骨粗しょう症検診の予約が行政オンラインシステムからでも可能になりました!(保健福祉センター実施分のみ)

オンラインでの予約には事前に登録が必要です。東住吉区では、予約申込された方の中から抽選で受診者を決定しています。オンラインでご予約された後、抽せん番号をご連絡いたします。



## 胃がん検診は取扱医療機関のみで実施します!

(保健福祉センターでは受診できません)

令和3年度よりコロナ禍における市民への安心・安全ながん検診の提供を考慮し、保健福祉センター等での**集団による胃がん検診を廃止**し、取扱医療機関のみで実施することとなりました。

対象とならない方…令和3年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方等(詳しくは6面をご覧ください。)

問合せ 保健福祉課(健診)1階13番 ☎06-4399-9882

